山梨県内の学校・合宿所 講演プログラム

「なぜ、英語を学ぶのか？」に一生モノの答えを。

『自衛隊×音楽交流×多言語』

異色のキャリアをもつ講師が、生徒の視野を広げる

大学・高校
講演実績多数

出張対応
会場へ伺います

夜間OK
放課後も対応

山梨県へお越しの
他県学生歓迎

山梨県内の学校・合宿所で無料講演を承ります。

自衛官として外務省に出向する「防衛駐在官」という特殊なキャリアや、外国での音楽交流など、英語とドイツ語で国際交流を切り拓いてきた講師が、自身の経験を楽しくお話しします。

講師　桑原 和洋（くわはら かずひろ） 陸上自衛隊 1等陸佐

1974年神奈川県生まれ。1993年に私立サレジオ学院高校、1997年に防衛大学校を卒業。陸上自衛隊入隊後、東ティモールPKO・ドイツ留学・ドイツ防衛駐在官勤務・ジブチ共和国での海賊対処行動支援隊指揮官などを歴任。現在は、自衛隊山梨地方協力本部長。

単なる受験勉強用だった英語が「世界と自分をつなぐ強力な道具」へと変わった物語をお伝えすることで、英語を学ぶ「目的」が明確になり、外国語学習に対するモチベーションを底上げします！

お問い合わせ・講演依頼はこちら

TEL：**055-253-1591**　E-MAIL：hq1-yamanashi@pco.mod.go.jp

＜自衛隊山梨地方協力本部　山梨県甲府市丸の内 1-1-18 甲府合同庁舎２階＞

山梨県内の学校・合宿所 講演プログラム詳細

この講演がもたらす「学び」

英語学習へのモチベーションがアップ

受験勉強用になりがちな英語が「世界と自分をつなぐための強力な道具」だと気づく体験を提供します。
仕事や音楽交流で**世界の人と本音で語り合った経験が、生徒の英語を学ぶ目的意識を底上げします。**

日常生活にはないキャリアとの出会い

自衛官として外務省に出向する「防衛駐在官」という仕事での、日独音楽隊やプロサッカー選手との交流など、**非日常のキャリアを実体験をもって語ることで、生徒たちの「知的好奇心」を刺激します。**

ＡＩ翻訳では伝えられない「心を動かす会話」の価値を体感

ＡＩ翻訳が普及する今だからこそ、自分の頭で考え、言葉を紡ぐ経験が不可欠です。情報をただ伝えるだけではなく、**「誤解のない丁寧さ」や「相手の心を動かす感情」を込めた、生きたコミュニケーションの本質を伝えます。**

おすすめの活用シーン・主な内容

- ☐ **英語の導入授業をしたい方**
  →東ティモールでの国連平和維持活動（PKO）
- ☐ **グローバルなキャリア教育として活用したい方**
  →ドイツ防衛駐在官として、日独音楽隊とのフラッシュモブなどを企画
  →海賊対処行動中に、自衛隊音楽隊をジブチ共和国に招致

ニュージーランド軍将校と調整

日独音楽隊交流での百年史フラッシュモブ

講師プロフィール詳細

桑原　和洋（くわはら　かずひろ）　　陸上自衛官（１等陸佐）

１９７４年　神奈川県鎌倉市生まれ、　１９９３年　私立サレジオ学院高校卒業
１９９７年　防衛大学校卒業、　２００２年　東ティモール国連PKO（スアイ）
２０１０－１２年　ドイツ留学、ドイツ連邦軍指揮幕僚大学卒業（ハンブルク）
２０１４年　防衛大学校 総合安全保障研究科（修士課程）卒業
２０１５－１８年　在ドイツ日本国大使館防衛駐在官（ベルリン）
２０２１－２２年　派遣海賊対処行動支援隊司令（ジブチ）
趣味はギターと写真撮影で、やまなし大使の顔も持つ。

活動の様子が「ひと目で解る」YouTube動画はこちら↓↓

今すぐチェック

演奏者紹介

日独音楽隊交流において、桑原防衛駐在官（当時）が音楽隊員をドイツ語で、サプライズ入りで紹介し、ドイツ人聴衆との一体感を生んだ場面の動画です。

DAIKU2018

ドイツ軍俘虜による『第九』日本初演から百年記念日に行われた、日独音楽隊によるベルリン・ブランデンブルク門での『第九』フラッシュモブ。